

II 農場運営

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	8
ページ	8-18
発行年	2012
URL	http://hdl.handle.net/10232/21134

II 農場運営

1 総務事項

1) 人事異動

2012. 4. 1 異動

桑畑 実代：医学部・歯学部附属病院医務課医事企画係長（前農場事務係長）

松尾 淳一：農場事務係長（前医歯学総合研究科等学務課医学教務係長）

新規採用

鎌田 裕子：入来牧場技術職員

相徳 和子：事務補佐員 農場事務係（インフォメーションセンター）

森山 博美：事務補佐員 農場事務係（インフォメーションセンター）

2012.12. 1 配置換え

寺本 玲香：学内農場農事部技術職員（前指宿植物試験場技術職員）

2012.12. 6 異動

相徳 和子：総務部企画評価課広報係（インフォメーションセンター）

森山 博美：総務部企画評価課広報係（インフォメーションセンター）

2013. 3.31 退職

山口 浩：特任准教授

新地 富一：指宿植物試験場技術専門職員

※共同獣医学部の設置に伴い、2012.4.1 付けで農学部農場事務係が農学部・共同獣医学部等総務課農場事務係に名称変更された。また、これに併せて、農場各施設の事務補佐員の所属が農場事務係に移った。

2) 技術職員研修

農場実習の高度化および充実を図るためには、技術職員の資質向上が不可欠である。農場では、技術職員の資質向上を最重要課題と位置づけて、以下のような各種の研修を実施した。

(1) 平成24年度新規採用職員研修

期間 平成24年8月7日～8日

場所 鹿児島大学，高隈演習林，大隅少年自然の家

研修者 入来牧場 鎌田裕子技術職員

(2) 第10回全国和牛能力共進会，長崎県立佐世保青少年の天地

期間 平成24年10月27日～29日

場所 ハウステンボス，佐世保市食肉地方卸売市場（佐世保市）

研修者 入来牧場 大島一郎主任，入来牧場 松元里志技術専門職員，入来牧場 廣瀬 潤技術専門職員，入来牧場 石井大介技術職員，入来牧場 鎌田裕子技術職員，農場事務係 半渡 聡係員

(3) 平成24年度鹿児島大学農学部附属農場・附属演習林及び教育学部実習地技術部職員研修

期間 平成25年2月8日

場所 鹿児島大学教育学部

研修者 学内農事部 野村哲也技術総括，学内農事部 城戸麻里技術職員，学内農事部 富永 輝技術職員，学内農事部 寺本玲香技術職員，唐湊果樹園 川口昭二技術総括，唐湊果樹園 福留弘康技術職員，指宿植物試験場 新地富一技術専門職員，指宿植物試験場 谷村音樹技術総括，指宿植物試験場 中野八伯技術職員，入来牧場 松元里志技術専門職員，入来牧場 木山孝茂技術専門職員，入来牧場 廣瀬 潤技術専門職員，入来牧場 石井大介技術職員，入来牧場 鎌田裕子技術職員

3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

(1) 学外

(学内農場農事部)

・鹿児島大学教育学部附属小学校

Ⅱ 農場運営

- 時期：平成24年4月10～20日 159名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成24年4月24日 76名
内容：生活科 校外学習「春をさがそう」農場内で草花や虫などを見つけたり観察したりする
 - ・きずな保育園
時期：平成24年5月10日 36名
内容：遠足（動物観察）※身近な動植物に触れて、情操を高めたり自然観察の目を養う
 - ・めぐみ幼稚園
時期：平成24年5月17日 51名
内容：幼児の体験活動のため（・いももの苗の植え方を知る ・土の感触を味わう ・自然の中でのびのびと遊ぶ）
 - ・鹿児島市立荒田小学校4年部
時期：平成24年5月22日 45名
内容：図画工作の絵画を描く学習の一環でスケッチ大会を実施する際のスケッチ場所の一つとして利用するため
 - ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成24年6月6～29日 159名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
また、生き物の生態について調べると共に生き物採取を行う
 - ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成24年6月26日 74名
内容：生活科の学習の一環として、農場内の草花、虫 動物等の観察を通して、自然の素晴らしさに気づき、自然を大切にしようとする態度を養う
 - ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成24年7月4～13日 159名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
また、生き物の生態について調べると共に生き物採取を行う
 - ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成24年7月17日 38名
内容：小学3年生 理科「虫をしらべよう」トンボやオタマジャクシなど採集、観察活動
 - ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成24年8月30日～9月7日 159名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
 - ・聖母幼稚園
時期：平成24年10月5日 149名
内容：大学内を散策し植物や農作物を通して季節の移り変わりを体験するため
 - ・きずな保育園
時期：平成24年10月23日 37名
内容：自然探索活動
 - ・めぐみ幼稚園
時期：平成24年10月25日 61名
内容：春に植えたいものを収穫する（いもほりの経験）、秋の自然の中でのびのびとあそぶ
 - ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成24年10月25日 72名
内容：鹿児島大学農学部内にある農場を見学し、草花や虫の観察を通して、自然の素晴らしさに気づき、自然を大切にしようとする態度を育てる
 - ・鹿児島大学教育学部附属中学校

- 時期：平成24年11月8～9日 6名
- 内容：職場体験学習
- ・昭和32年卒クラス会
- 時期：平成24年11月22日 20名
- 内容：農学部構内見学
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
- 時期：平成25年1月11～25日 159名
- 内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
- ・きずな保育園
- 時期：平成25年2月21日 39名
- 内容：農場見学，自然探索活動
- (唐湊果樹園)
- ・放送大学鹿児島学習センター
- 時期：平成24年7月7日 42名
- 内容：平成24年度1学期面接授業「南九州のくだもの（果樹）栽培」講師：富永茂人教授
- ・鹿児島大学教育学部附属幼稚園
- 時期：平成24年11月2日 72名
- 内容：友だちと楽しくみかん狩りをして、収穫の喜びを味わう 果樹園の方が世話をしていることを知り、感謝の気持ちをもつ
- ・鹿児島教育学部附属中学校
- 時期：平成24年11月8～9日 5名
- 内容：職場体験学習
- ・屋久島町認定農業者連絡協議会事務局
- 時期：平成25年1月15日(火) 7名
- 内容：屋久島町認定農業者先進地リーダー研修に伴う視察
- ・稲苗管理センター鹿児島農場
- 時期：平成25年1月23日(水) 1名
- 内容：遺伝資源作物びわ・かんきつ類の栽培技術等聞き取り調査
- (指宿植物試験場)
- ・武雄市営業部商工流通（農林課兼務）
- 時期：平成24年5月9日 3名
- 内容：武雄市における新たな農産物として、熱帯果実の栽培を開始するにあたり、これら果実の生育条件等についての研修
- ・九州アロマテラピー研究会
- 時期：平成24年5月12日 30名
- 内容：アロマテラピーの有効活用と啓蒙活動の一環として、指宿植物試験場内においてゲットウの精油成分の勉強会と、ゲットウアロマウォーターの作成実習を行う
- ・学術交流協定校 タイ王国メジョー大学
- 時期：平成24年5月18～20日 6名
- 内容：学術交流協定校 タイ王国メジョー大学，教員，スタッフ，大学院生の鹿児島大学および南薩地域視察に伴う宿泊
- ・熱帯果実振興会の情報交換会
- 時期：平成24年6月9日 10名
- 内容：地域貢献のため協力している熱帯果樹振興会の情報交換を行う
- ・鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
- 時期：平成24年6月18～29日 1名
- 内容：平成24年度教育学部附属特別支援学校高等部産業現場等における実習
- ・韓国農水産大学附属キョウギ農業マイスター大学：2泊3日
- 時期：平成24年7月4～5日 20名
- 内容：国外現場実習課程としての研修
- ・熱帯果実振興会の情報交換会

Ⅱ 農場運営

時期：平成24年9月8日 13名

内容：指宿地域の農業振興の一環として情報交換を行う

・武雄市営業部農林課

時期：平成24年10月5日 2名

内容：武雄市における新たな農産物として、熱帯果実の栽培を開始するにあたり、これら果実の生育条件等についての研修

・屋久島町認定農業者先進地リーダー研修に伴う視察

時期：平成25年1月16日 7名

内容：屋久島町認定農業者先進地リーダー研修に伴う視察

・雲南農業大学

時期：平成25年1月29日 14名

内容：雲南農業大学・学生交流プログラム・指宿研修のため

(入来牧場)

・福岡県立嘉穂高等学校理数科1年生

時期：平成24年8月1日 45名

内容：VERA 望遠鏡，1m光赤外線望遠鏡の施設公開

・平成24年度「未来を拓くキャリア教育推進事業（中・高校生のインターンシップ事業）」

時期：平成24年8月6日～8月8日 3名

内容：インターンシップ事業として中学生を2名，高校生を1名受入れ

・福岡動物病院看護士学院

時期：平成24年9月5日～7日 29名

内容：牧場実習

・鹿児島青年会議所

時期：平成24年9月15日 85名

内容：「かごしまコスモアカデミー2012」（入来牧場のVERA 望遠鏡と1m光赤外線施設）

・平成24年度九州地区国立大学法人等係長研修

時期：平成24年9月12日 65名

内容：九州地区国立大学法人等の係長研修における施設見学

(2) 学内

(学内農場)

平成25年

2月3日 作物生産学講座教員選考に関する打合せ（7名）

2月9日 作物生産学講座 卒・修論発表会にかかる交流会（35名）

(指宿植物試験場)

4月7～8日 卒論，修論のための，ヤマイモ種イモと圃場準備（6名）

4月10日 地域貢献の一環として行っている熱帯果樹振興のための組織である指宿熱帯果樹研究会の打合せ（11名）

4月14～15日 卒論，修論のための，ヤマイモ類などの定植（6名）

5月19～20日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

5月26～27日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

6月2～3日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

6月9～10日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

6月23～24日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

7月7～8日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（3名）

7月21～22日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

7月28～29日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

8月4～5日 修士論文のための調査（2名）

8月4～5日 修論のための，ヤマイモ類の組織培養（2名）

8月13日～11月20日 モグラを実習で使用するため，圃場周辺でモグラ塚を探し，巣穴に筒型捕獲器を設置してモグラを捕獲する。捕獲器を設置してから2時間おきに見回る（3名）

8月11～12日 修論のためのヤマイモ類の組織培養（2名）

8月25～26日	修論のためのヤムイモ類の組織培養（2名）
9月7～8日	卒論，修論のためのヤムイモ研究圃場の整備（5名）
11月9～10日	修論にかかる調査（2名）
12月1～2日	遺伝資源保存のためのヤムイモ収穫および卒論にかかる調査のため（7名）
12月8～9日	遺伝資源保存のためのウコン収穫および卒論にかかる調査のため（4名）
(入来牧場)	
4月1～30日	実験を行うため（1名）
4月5日	衛生管理のため（10名）
4月9日	平成24年度理学部物理科学科新入生オリエンテーションで午前10時～11時まで入来 VERA 望遠鏡と1m光赤外線望遠鏡の見学（52名）
4月10～26日	実験準備作業のため（17名）
5月1～30日	実験を行うため（1名）
5月8日	計画検討会のため（6名）
5月19～20日	視覚刺激を利用したイノシシの侵入防止の調査 夕方（16:00）に誘引餌の交換（1名）
5月19～31日	試験地整備および実験（15名）
5月23～24日	肥育牛舎内でのイノシシの採食料調査，夕方（18:00）に濃厚飼料をセットする 早朝（6:00）にセットした濃厚飼料を回収する（1名）
5月23～24日	卒業研究のための牛糞の採集及びシバの移植試験（11名）
5月31～6月3日	モウソウチクの解砕処理およびそれを用いたサイレージ調製並びに敷料利用の実験準備作業 に用いる竹（3t）を早朝から夜間（5:00～22:00）における継続した処理（6名）
6月1～30日	実験を行うため（1名）
6月2日	視覚刺激を利用したイノシシの侵入防止の調査，夕方（16:00）に誘引餌の交換（1名）
6月2～3日	視覚刺激を利用したイノシシの侵入防止の調査，夕方（16:00）に誘引餌の交換の調査を実施するため（1名）
6月4～30日	カラスの音声実験のため早朝および夕方のビデオカメラによる撮影を行う予定（1名）
6月21～7月26日	実験調査のため（1名）
6月25日	口之島野生化牛の遺伝的多様性を解析するために，入来牧場等で飼養されている野生化牛集団の血液を採材する（3名）
6月29～30日	肥育牛舎内での野生イノシシによる濃厚飼料の採食量調査（18:00～6:00）（2名）
7月1～31日	実験を行うため（1名）
7月3～9日	供試牛の採食量（1名）
7月26～27日	肥育牛舎における野生イノシシの濃厚飼料の採食量調査（18:00～6:00）（2名）
8月1～31日	実験を行うため（1名）
8月2～30日	実験調査のため（1名）
8月4日	理工学研究科物理科学科オープンキャンパスに伴い，入来牧場 VERA 望遠鏡及び理学部1m光赤外線望遠鏡の天文観測施設見学（40名）
8月17～30日	カラスの音声試験のため（1名）
8月19～20日	理学部の科学技術振興機構平成24年度サイエンスキャンプ事業採択で，入来 VERA 望遠鏡と1m光赤外線望遠鏡で観測する（42名）
8月23日	衛生管理のため（7名）
8月27～28日	肥育牛舎内における野生イノシシの採食量調査（18:00～6:00）（1名）
9月1～30日	実験を行うため（1名）
9月8～28日	実験調査のため（1名）
9月11日	衛生管理のため（6名）
9月20～21日	平成24年度家畜事項授精師講習会（家畜人工繁殖学実習）実施のため（26名）
9月25～28日	竹処理およびサイレージ調整・衛生管理のため（15名）
10月1～31日	実験を行うため（1名）
10月3～25日	実験調査のため（1名）
10月11日	衛生管理のため（10名）
11月1～30日	実験を行うため（1名）
11月2～14日	実験調査のため（1名）
11月6日	山羊運搬のため（4名）

Ⅱ 農場運営

11月22日	衛生管理のため（5名）
11月27～29日	野生イノシシの肥育牛舎内における濃厚飼料の採食量調査（18:00～6:00）（1名）
12月1～31日	実験を行うため（1名）
12月4日	口之島野生化牛のサンプリング（血液・鼻汁・写真）のため（4名）
12月4～6日	竹処理およびサイレージ調整のため（18名）
12月5日	衛生管理のため（9名）
12月26日	衛生管理のため（5名）
1月1～31日	実験を行うため（1名）
1月9日	衛生管理のため（5名）
1月29日	衛生管理のため（7名）
2月12日	衛生管理のため（6名）
2月20～3月15日	竹の運搬，解砕処理およびサイレージ調整のため（72名）
2月28日	衛生管理のため（6名）
2月28～3月1日	植物揉摺機を用いたモウソウチクの解砕処理およびその処理物を用いたサイレージ調製の実験を行うため（2名）
3月5日	衛生管理のため（7名）
3月22日	ローダ講習のため（5名）
3月23日	試験地下見のため（3名）
3月28日	衛生管理のため（6名）
3月31日	実験のため（1名）

4) 刊行物

鹿児島大学農学部附属農場年報，第7号（2013.3）

鹿児島大学農学部附属農場研究報告，第35号（2013.3）

5) 行事

4月3，4日	展示即売会および市民農業講座
7月20日	学内農事部お田植え祭
10月12日	入来牧場乾草祭
11月30日	唐湊果樹園収穫祭

6) 平成24年度全国大学附属農場協議会

(1) 秋季協議会（当番校）

日 時：平成24年11月15日～16日

場 所：城山観光ホテル（鹿児島市）

参加者：富永農学部長，佐藤農場長，遠城農場主事，朴植物部門主任，大島動物部門主任，川口技術総括，新地技術専門職員，野村技術総括，谷村技術総括，片平技術総括，福留技術専門職員，木山技術専門職員，廣瀬技術専門職員，田浦技術職員，城戸技術職員，富永技術職員，勘米良技術職員，中野技術職員，石井技術職員，鎌田技術職員，神之門農学部・獣医学部等事務部長，小澤農学部・獣医学部等総務課長，飯山農学部・獣医学部等総務課長代理，松尾農場事務係長，半渡農場事務係員

(2) 春季協議会

日 時：平成24年5月10日～11日

場 所：ホテルフロラシオン青山（東京都）

参加者：佐藤農場長，遠城農場主事

(3) 九州地域協議会・技術職員研修会

日 時：平成24年9月3日～4日

場 所：佐賀大学農学部（佐賀市）

参加者：佐藤農場長，大島動物部門主任，廣瀬技術専門職員

2 会計事項

1) 予算および決算

平成24年度の農場予算および決算は、第6表のとおりである。予算額108,437,061円に対し、決算額108,527,001円で、89,940円の不足が生じた。

第6表 平成24年度予算および決算

(単位：円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
農場実習経費	0	300,000	300,000	301,350	△1,350
農場実習支援経費	41,231,000	194,629	41,425,629	41,400,337	25,292
農場運営経費	47,413,000	15,353,032	62,766,032	62,882,151	△116,119
主事	400,000	557,700	957,700	956,829	871
植物部門主任	400,000	42,700	442,700	442,615	85
動物部門主任	400,000	245,000	645,000	644,356	644
特任准教授	400,000	0	400,000	399,363	637
演習林より借入	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0
合計	91,744,000	16,693,061	108,437,061	108,527,001	△89,940

2) 機械、設備および備品

本年度は、施設毎の機械、備品を中心に、第7表に示すように総額2,810,850円の予算を充当した。

第7表 平成24年度機械設備等の整備 (50万円以上 予算：自己収入)

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額 (円)	施設名
スピードスプレーヤ	やまびこ社製 SSV553F/EP	1台	2,810,850	唐湊果樹園
合計			2,810,850	

3) 施設整備

(1) 学内農場農事部

数年前より、作物生産に配慮した輪作体系を組み、田畑輪換も含めた作付け体系を実施している。しかし、元来が排水不良地であるため、畑作時における、湿害の発生がみられた。そこで、平成19年度の実習教育改善経費により、排水不良の2圃場(10号：約800㎡、と11号：約1,570㎡)に暗渠排水を敷設した。今後、輪作体系をみながら、2～3年の年次計画でその他の排水不良圃場にも同様の設備を敷設する予定である。

(2) 唐湊果樹園

ブドウ栽培の面積を広げるため簡易屋根かけ式のブドウ棚が新設された。また、老朽化していたパイプハウス1棟を職員で建て替えた。

昨年度は、不調であった井水をくみ上げる水中ポンプと揚水ポンプ2機のうち1機を交換した。本年度は残る揚水ポンプ1機の交換がなされ、ポンプ設備の更新が完了した。

果樹園は敷地境界をフェンスで張り巡らせているが、特に唐湊墓地と隣接したフェンスが倒壊し、危険であったため、昨年度から部分的に張り替えを行っている。本年度はウメ園からカキ園にかけて更新された。

(3) 指宿植物試験場

ここ数年、施設の加温に利用している温泉量が減少傾向にあるため、一部の温室やハウスでは、従来の温度確保がむずかしくなってきた。一時的な現象かどうかを見極める必要があるが、平成20年度に導入された「省エネルギー型生産技術開発システム」に利用する温泉量も減少しており、今後、湯量の確保に向けた方策が必要になる。

(4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工(1968)後、43年を経過し、壁面の亀裂、雨漏り等、老朽化が著しい。平成20年度には、平成19年度から繰り越した農場経費と大学本部経費により、女性用トイレと風呂の新設および職員室の改修を行ったものの、入来牧場管理棟2階部分(宿泊室、講義室)、1階部分(男子トイレ、風呂、食堂)および外壁の改修が課題として残っている。学生、外部利用者および教職員の安全性確保の観点から早急な全面改修が望まれる。

(5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築28年を経過し、雨漏りが頻発していたため、これまで部分的な補修を繰り返してきた。しかし、部

分的な補修では改善が見られないことから、平成23年度末に附属演習林から予算借入れを行い、屋根の全面補修を行った。その結果、雨漏りは止まったものの、建物本体の劣化および排水等の問題は依然として残ったままである。今後、3年間を目処に屋根補修費返済を行いながら、諸問題の解決策を検討する予定である。

3 各種会議および委員会

1) 農場会議

(1) 委員名簿 (任期2年 2011年4月1日～2013年3月31日)

農場長 (議長)	佐藤 宗治
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
園芸生産学講座	富永 茂人
病害虫制御学講座	津田 勝男
家畜生産学講座	中西 良孝
農業経営経済学講座	豊 智行
生物資源化学科	北原 兼文
生物環境学科	高木 東
総務課長	小澤 結花

(2) 会議記録

第1回：平成24年7月26日 (木) 9時00分～9時25分

- 議題 1. 平成23年度附属農場決算 (案) について
2. 平成24年度附属農場予算 (案) について
3. その他

第2回：平成24年9月24日 (月) 14時30分～15時05分

- 議題 1. 平成24年度後期農場実習 (案) について
2. 平成24年度後期施設等利用計画 (案) について
3. その他

第3回：平成25年1月22日 (火) 9時00分～9時52分

- 議題 1. 残予算の用途について
2. その他

第4回：平成25年3月19日 (火) 10時30分～10時50分

- 議題 1. 平成25年度前期農場実習 (案) について
2. 平成25年度前期施設等利用計画 (案) について
3. その他

2) 農場運営委員会

(1) 委員名簿 (任期2年 2011年4月1日～2013年3月31日)

農場長 (委員長)	佐藤 宗治
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
兼任教員	下田代智英
兼任教員	山本 雅史
兼任教員	高山 耕二
農事部技術総括	野村 哲也
唐湊果樹園技術総括	川口 昭二
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	片平 清美
総務課長代理	飯山 久夫

農場事務係長

松尾 淳一

(2) 委員会記録

第1回：平成24年5月9日（水）14時30分～15時00分

- 議題 1. 平成24年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会について
2. 平成24年度予算案の作成について
3. その他

第2回：平成24年7月19日（木）9時00分～9時55分

- 議題 1. 平成23年度附属農場決算（案）について
2. 平成24年度附属農場予算（案）について
3. 平成25年度以降の管理獣医師について
4. 平成24年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会の協議事項及び承合事項について
5. 平成24年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会について
6. その他

第3回：平成24年10月10日（水）14時30分～15時15分

- 議題 1. 収入見合いの用途について
2. 平成25年度展示即売会の日程について
3. その他

第4回：平成25年1月18日（金）9時00分～9時35分

- 議題 1. 残予算の用途について
2. 平成25年度展示即売会について
3. 農学部・共同獣医学部動物防疫対策会議委員の選出について
4. その他

3) 農場実習教育委員会

(1) 委員名簿

農場長（委員長）	佐藤 宗治
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
〃	下田代智英
〃	一谷 勝之
園芸生産学講座	富永 茂人
〃	山本 雅史
〃	久保 達也
〃	吉田理一郎
〃	橋本 文雄
〃	清水 圭一
病虫害制御学講座	岩井 久
〃	中村 正幸
〃	津田 勝男
〃	坂巻 祥孝
家畜生産学講座	吉田 光敏
〃	大久津昌治
〃	三好 和陸
〃	岡本 新
〃	下桐 猛
〃	中西 良孝
〃	高山 耕二
生物環境学科	

環境システム学講座 岩崎 浩一
 自然科学教育研究支援センター
 遺伝子実験施設 田浦 悟

(2) 委員会記録

第1回：平成24年9月5日（水）13時00分～13時20分

- 議題 1. 平成24年度後期農場実習（案）について
 2. 実習教育委員会経費について
 3. その他

第2回：平成25年2月6日（水）10時30分～10時45分

- 議題 1. 農場運営委員会委員の選出について
 2. その他

第3回：平成25年3月7日（木）9時00分～9時20分

- 議題 1. 平成25年度前期農場実習（案）について
 2. その他

4) 附属農場施設等利用委員会

(1) 委員名簿

農場主事（委員長）	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
作物生産学講座	一谷 勝之
園芸生産学講座	久保 達也
病虫害制御学講座	坂巻 祥孝
家畜生産学講座	高山 耕二
生物資源化学科	樗木 直也
生物環境学科	岩崎 浩一

(2) 委員会記録

第1回：平成24年8月28日（火）13時00分～13時25分

- 議題 1. 平成24年度後期施設等利用計画（案）について
 2. その他

第2回：平成25年2月21日（木）9時00分～9時20分

- 議題 1. 平成25年度前期施設等利用計画（案）について
 2. その他

5) 農場研究報告編集委員会

(1) 委員名簿

園芸生産学講座（委員長）	山本 雅史
農場主事	遠城 道雄
作物生産学講座	下田代智英
病虫害制御学講座	岩井 久
家畜生産学講座	大久津昌治

(2) 委員会記録

第1回：平成24年5月16日（水）10時30分～10時50分

- 議題 1. 鹿児島大学農学部農場研究報告原稿の募集について
 2. その他

第2回：平成24年12月18日（火）10時30分～10時45分

- 議題 1. 農場研究報告第35号受付原稿の校閲者の選定について
 2. その他

6) 農場家畜防疫対策検討委員会

(1) 委員名簿

農場長 (委員長)	佐藤 宗治
生物生産学科 家畜生産学講座	吉田 光敏
生物生産学科 家畜生産学講座	岡本 新
〃	中西 良孝
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
入来牧場技術総括	片平 清美
入来牧場管理獣医師	山口 浩
共同獣医学部	出口栄三郎

(2) 委員会記録

第1回：平成24年6月8日 (金) 10時30分～10時50分

- 議題 1. 今年度の八重山高原星物語開催に関して
2. その他

4 入来牧場における牛白血病ウイルス (BLV) 清浄化の進捗状況

平成19年10月、入来牧場における飼養牛のBLV血清抗体価を調査した結果、検査頭数361頭のうち、陽性牛は210頭となり、全体の58%が牛白血病ウイルスに感染していることが判明した。この結果を受け、農場では平成20年1月以降、家畜防疫対策委員会を設置し、入来牧場の牛白血病ウイルス清浄化を、分娩管理および分離飼育の両側面から進めることを決定した。入来牧場では、直ちに清浄化対策を実施し、平成20年5月で陽性率51%、平成20年11月には陽性率は41%、平成23年1月には陽性率36%、平成24年2月には陽性率23%と着実に陽性率の低下を実現し、平成19年以降、約52ヶ月で陽性率は35ポイント低下している。平成24年12月の調査では陽性率14%となっておりBLV陽性率は完全にコントロールできている状況である。現在、BLV清浄化は最終段階に入っているものの、陽性牛を集めて出荷までの間飼養している肥育牛舎では、水平感染のリスクもあることから、BLVの完全な清浄化には、まだ期間を要するものと考えられる。今後は、陽性確定牛の出荷を急ぐとともに、引き続き陰性牛の陽転を観察するため、定期的な血液検査を行っていく予定である。